

大橋記念図書館 落成



発行所
太良町中央公民館
電話 ⑦ 0145番
編集責任者 平川清太
印刷所 松浦印刷社

町のニュース 町民の話題

町民のみなさん
から記事、写真
の提供をお待ち
しております。



西に多良岳、東に有明海を一望できる、町健康広場の一角に大橋記念図書館が落成しました。

白磁器タイルの外壁のしゃれた西欧風なその姿は清楚な中に気品にみちています。

欲しい本を誰もが気軽に借り出せる図書館、町のサロンとして地域の語り合いの場にも……

七月上旬の開館を目差して、今準備が進められています。

大橋記念図書館落成を 記念して

『心豊かな人』 大橋リュウフ博士

誓願寺住職 大井法秀

大橋リュウフ博士は今年八十八回目の正月を迎えられました。米寿の祝を目前に控え、自分の歩いた路を振り返られると共に限りない夢を郷里の太良に託して、豊かな人になれ」と慈悲のまなざしをそそいでおられます。

一億円という巨額の寄附をなさった大橋博士に「豊かな」という表現をすればおおかたの人は満ちたりた贅沢な生活を連想されると思いますが全く違うのです。一事で表現しますと「白黒のテレビ」を見ながら質素な生活をなさっています。この事だけですべてがわかると思います。

大橋博士は数年前ガンセンターで手術を受けられ、昨年から腰を痛めてコルセットを着けておられますが、自分の身のまわりの事は一切自分でなさっておりますし、マンションの一部屋を診察室にして月曜と木曜に週二回は患者の診察もしておられます。お医者様に行くのはどんなに馴みだから或いは知り合いだからといつても自分の命を預けるのですから、安

心できぬと判断すれば患者が来なくなると思いますが、未だに五十名程の患者を診察しておられます。本当に郷里の大先覚者と世に誇る事のできる大橋博士にびつたりという言葉、それが「心豊かな人」という事ではなからうかと思えます。

大橋博士はたった二時間の睡眠時間で毎日勉強一途に努力された人です。だから今、郷里の太良でそれぞれの道で努力を続け人のお手本になるような人があれば、この褒美の一つでもあげてくれと多くの豊かな人づくりの為私財を投げ打って下さったのです。

大橋博士は十二才(五年生)迄糸岐誓願寺より多良尋常小学校へ通って一生懸命勉強されました。今も当時の同級生や寺の近所の人達は誓願寺のオリウさんと呼びます。(オリフとなったのは東京震災で役所の書類が焼けいつのまにかオリフになったそうです。)

特に大の仲良しであった針金スギさん(元針牟田在)は「頭脳聡明な事と心やさしい人」であったと次のように語って下さいました。



▲大橋記念図書館落成式式典

「ある雪の日、オリフさんは自分の手袋で雪を払って私達に道を作ってくれたり、学校から帰って家の手伝いをしていると蚤の世話をしたり、鶏の餌を切ったりされた」と。又、博士が自分の思い出として話されたことは次のような出来事です。

五才の時、誓願寺の裏庭にある池に落ちて仮死状態になっていたのを通りがかりの人が、わずかに赤い紐が浮いているのを見つけて助けてもらい、やつのこと息をつくようになって大勢の人が自分を見つめていたことや、汽車を見に武雄駅迄行き佐賀迄乗せてくれた達隆さん(誓願寺三十四世)のこと、その時のホームの様子や

石畳、五才の時落ちた池、久し振りに見る多良岳、有明の海、二十五年前と一つも変わらぬ郷里の景色を眺めた時はずれ郷里のお役に立ちたいと思われたそうです。

大橋リュウフ博士と誓願寺の交流は、十年前より特に仏縁を通じて深まり、二度、三度東京に向かううちに千八百年代の医学書、その他一般図書が沢山あるので、そのうち整理して太良町に送り届けるのでと言う事でしたが、そうこうしているうち博士が入院されたので東京築地のガンセンターに博士を見舞い、一昨年には博士の実兄吉原自覚僧正白寿祝賀会に参上し、一族の方々とお会いして頂きました。

博士の親類はお医者さんが沢山おられその他は殆どお寺さんです。特にお兄さんは百才を迎えられ浄土宗きつての高徳の方で、又お姉さんの子供さんが浄土宗の教学局長という要職をつとめておられます。又お父さんは百五才迄長命でしたので長生きの血統でもあるようです。

大橋リュウフ博士はお医者さんになる動機を「母が体が弱かったので医者になり母と二人で暮らそうと思って医者の学校を選んだ」とおっしゃいました。そして「寺に育つてよかった。仏縁に感謝する」と結んで下さいました。

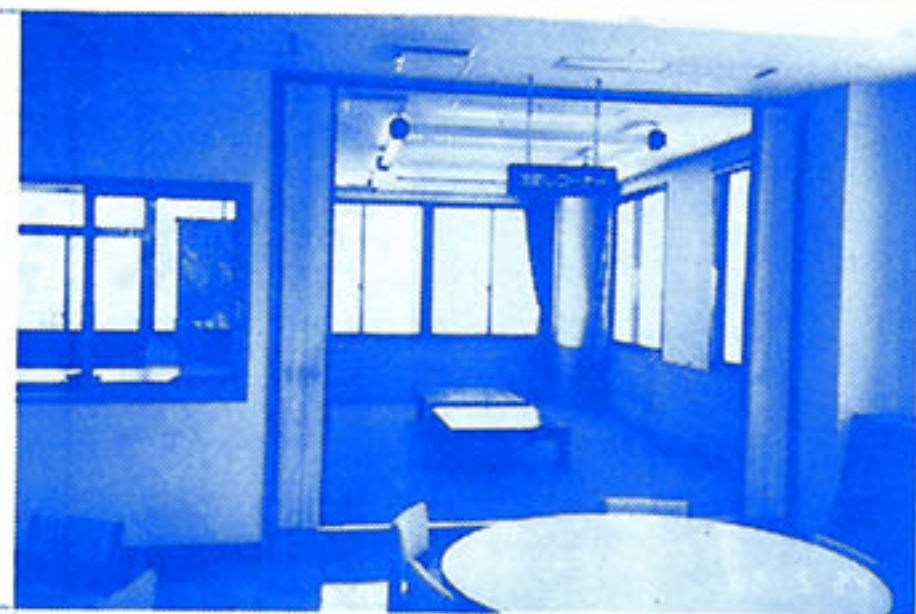


▼ゆったりとした室内

汽車に乗った楽しい思い出がはつきり浮かんでくると言われました。今でも北町の田中さん、新宮さん、本町の古川さんの白壁の土蔵や、張りめぐらされた白塀のこと、他にも本町片倉さん、栄町の山口さん、油津の富士屋さん、油津海岸の横に寝そべった松、多良の民謡「岳の新太郎さん」、「ちよいとそこ」、「一つ二つは」の数え唄に至るまで目を細めながら話して下さいます。「三つ子の魂」と言うが意味のわからぬまじいつの間にか覚えこんだ歌を歌いながら「環境の大事さ」という事を特に感じたと言われます。

やがて東京へ出られたオリフさんは小石川淑徳女学校へ飛級をして入学されました。田舎から東京の学校へ然も六年を飛び越えて編入された事を思うと如何に頭が良かったかがわかります。東京女子医学専門学校(現在女子医大)を卒業され榊原病院へ勤務、この頃東郷平八郎(元帥)、近衛文磨(総理大臣)等当時の有名人の奥さん方のお産を手がけておられます。このつながりによって新橋で開業される時、伊達まり子さんより仙台伊達藩の江戸屋敷跡を引き受けられたようです。従って大橋医院は場所的にもとってもいいところになりました。

大正十一年志を立てて外国留学を念願、バスポートの申請をする為役所へ相談に行ったが「氣遣い娘」



▲お話コーナーもあります

廻り翌十二年より四年間、アメリカ、ロスアンゼルス、カリフォルニア大学に学び、この時一時日本に帰りたいと思ったが、ここで負けてはならぬと、父が(嘉永六年生れ)九州から東京迄漢字の勉強の為二度も歩いて行った(大井川の渡しだけ駕籠に乗った)話しを思い出して心の支えにし、くじけそうになる心にむち打ったと言われます。

ロスアンゼルスでは助産婦の免許を取り学資をつくり車の運転もなさっています。

大学在学中に所定の年限を待たずして国家試験を受けるよう教授からすすめられ一度でパスし、アメリカ人の学生は国家試験をパスしてどうしてまた学校に来るのかと不思議がったそうです。しかし国家試験より卒業証書をとったかっと思われたそうです。その後

ドイツへ留学(ハンブルグやベルリンの都市を廻りフライブルク大学、ベルリン大学で研究される。)その間いろいろの知人の仏縁を得又、医学の諸先生方より見も知らぬ自分をとて親切にしていい勉強の場を作ってもらったと感謝されながら帰国されますが、帰国に当たり、シベリヤ、満州、朝鮮を通りその頃は早や戦争のきざしが見えていたと言われます。一口に留学と言いますが当時はアメリカを横断するだけでも汽車で四日三晩、大西洋を渡るのに十二、三日かかったようです。再び留学するつもりだったので勉強したノート(大学ノート五十冊)は外国においたままだったそうです。

昭和六年十二月に帰国

帰国後一年間に留学の成果をまとめられ東北帝国大学医学部へ学位論文提出。エンテロコクセンという球菌(細菌)の研究論文により昭和八年二月二日文部大臣認可昭和八年三月六日博士号授与(学位番号医二八六)。日本では珍しい女性医学博士となる。

昭和九年六月学位取得報告の為郷里の誓願寺へ二十五年振りに初めて里帰りされる。針金スギさんは立派になられたオリウさんが絹の洋服を着て、あまり偉くなられたので逢うのが恥ずかしくなり陰よりその姿を見たと言われました。誓願寺の本堂の屋根、桜門、境内のむくろ、ぎんなん、杉の太木、



森崎 斉 先生

【職員紹介】

四月一日付県の人事異動により、一年間勤務いただいた、県派遣社会教育主事、溝上義明先生が黒髪少年自然の家へ転任になり、その後任として、鹿島市の森崎先生が公民館に勤務されることになりました。

森崎先生は、七年前に体育教師として、大浦中学校に勤務された

こともあり、又、剣道は、七段の腕前で、町内でも顔見知りの方が多くことだと思えます。

公民館では、森崎先生に社会教育に関することや社会教育団体の指導育成、各種学級、講座等の指導助言などを主にお願ひしておりますので、よろしくお願ひ致します。

「よろしくお願ひします。」

茶と温泉の街、嬉野小学校から溝上先生(県派遣社会教育主事)の後任として、公民館にお世話になることになりました。

太良町では、七年前に、大浦中学校で体育教員を二年間務めさせてもらい、その間、生徒との出会いや、ご父兄のひたむきな温かさが、強烈な印象として残っております。

今度の新しい仕事は、社会教育という立場での「生涯教育」が主であり、それは、幅広く、そして奥の深いむつかしい仕事と聞いております。

しかし、大浦での二年間の貴重

な体験をもとに、特に、教育委員会、公民館の方のご指導を得て、気持ちは、「青年」の積もりで頑張る決意です。

海の幸、山の幸に象徴される、「青」と「緑」と「オレンジ」の色が、美しく輝く

太良町の皆さんへ勉強させてください。そして、かかえきれぬ、「尊い思い出」を持たせて、学校へ帰してください。

なかでも

婦人会、青年団の皆さんへ

ご迷惑ですが、いっしょに歩かせてください。

大浦の21・22・23才の皆さんへ

お元気ですか？そっとでもいいから声をかけてください。

又、剣道関係の方へご支援、ご鞭撻の程を切にお願ひ申し上げます。

県派遣社会教育主事

森崎 斉

シリーズ

太良町の先覚者(1) 中野万亀子女史



中野万亀子女史の頌徳碑が、伊福部落の入口、伊福川のほとりに建てられています。万亀子女史は、田中鉄三郎さんの実姉で、温厚淑徳で抱擁力が大きく、行動力に富んだ方で、婦人として社会的に活動された稀に見る傑出した女性でした。頌徳碑文によって、中野万亀子女史を紹介いたします。

「心から人々に温情をかけ、多くの人々を援け、善行を積み重ねた人の中でも、中野万亀子女史のよくな人は、比の世にそう多くはありません。」

早くから、部落青年のための夜学会を起し、その後、四十年間継続してきたので、その教えを受けた者が少なくありません。

また、時代の移り変わるに随い婦人会をつくり、婦人の智徳を磨き、或いは女子青年を率いて非常救護班をつくり、奉仕共同の精神を養い、或いは、地域の貧困者を救い、或いは、農繁期に託児所をつくり、或いは、学校その他いろいろな団体の発達を後援するなど社会の為、人の為尽くされた行為は、数えあげることができないほどです。

そのため、文部大臣から、青年指導の功勞によって表彰されました。更にもっとすばらしいことは昭和八年一月、高松宮殿下から、婦人及び青年の教化や、農村の社会事業功勞者として、菊花御紋章入りの銀製花瓶を賜ったことで、なんと光榮なことではありませんか。

善行は、必ずその子孫に徳が及ぶ

中野家夜学会の生徒が相談してこの頌徳碑を建てるにあたり、その碑文を書いてくれと私に頼んできました。そのため、その功績の概要を書きました。

昭和九年十二月 元学習院教官 七十二才 中尾奉峰作文 七十翁 薬師寺白鷺書 建立者 中野夜学会同窓会

太良町歴史民俗資料館 館長 浜崎 公義

※この碑文は、資料館館長の浜崎先生に、現代風に直してもらいました。

短歌四月

永病みの床に笑みを手習ひの吾が琴の音を聞きつつ母は 木下 よしの 春霞煙るが如し有明海に墨絵ながら釣舟うかぶ 西岡 光子

優勝のカップ頭上に高々とあげし 勇姿に春の陽傾ぶく 田中 光子 さらざの木の間にれ来る庭中に 椿の花の早咲き揃ふ 森田 キチ 緑濃き屋根登り来て風配に阿蘇雲 仙と共に指差す 川岡 つた 射千咲けば姉はこよなく欲べり雨

後の山路を心越ゆらし

辻本 ナツ

明治の世は積荷にて料金決めしといふ今鉄橋の百貫渡し 川岡 つた

赤き芽出で雨にいいよ彩鮮らし 針金 しげの

鈴蘭の蕾々々として 鶴崎 静代

人間が捨てし芥を打ち上げて昼の 馬場 志茂

岸辺に泡立てる波 藤田 幸子

露のとう汁にきざめばほろ苦し春は回れど人もどり来ず 西岡 光子

風邪癒えて庭に出づれば陽が匂ふ 今を盛りの山吹の花 岩永 礼子

舗装路にへばりつきるし蒲公英の首のび始む雨ふりいでて 片淵 スミエ

すでにして高度成長終りたる無人 駅なる万葉の桜 塚口 弥八

席譲り少し含む吾れならむ日の照る田畑しばらく眩し 川岡 五六

風薫る五月晴れの下苗代の水播り 足りて畦はぬれたる 田中 光子

はやの風吹けばくちぞこ取れると ぞ夫は言ひたり遺影を仰ぐ 田中 光子

植木みなそほ降る雨にうるほへり 芽吹き花咲く春の清しき 森田 キチ

森田 キチ

有明の波は耀ふばかりなりノール マンイステフラーの碑に寄りて立つ 川岡 つた

庭の木のやうやく芽吹き出揃ひぬ さらさらとして皆柔かき 針金 しげの

母の里世代も変る仏前に写真の祖母の若く安らぐ 木下 よしの

京の御所に右近の橋実をつけて今に伝へる平安の世を 西岡 光子

パーゲンに購ひたるらしも男の孫よりプレゼント受くる今日佳き日なり 鶴崎 静代

天皇の長寿祝きてか吾が町の健康広場の躑躅真盛り 岩永 礼子

年輪は匿しもあへず我が足に坐り 肝臓ありて固く見苦し 藤田 幸子

装ひて心きりりと旅立ちぬ意惰に 流るる暮しを措きて 片淵 スミエ

満ち潮のひそかな音が石垣のはざまに寄せて小さき入江は 塚口 弥八

臥処より見ゆる雨にて咲き撓む牡丹いくつか心許なし 川岡 五六

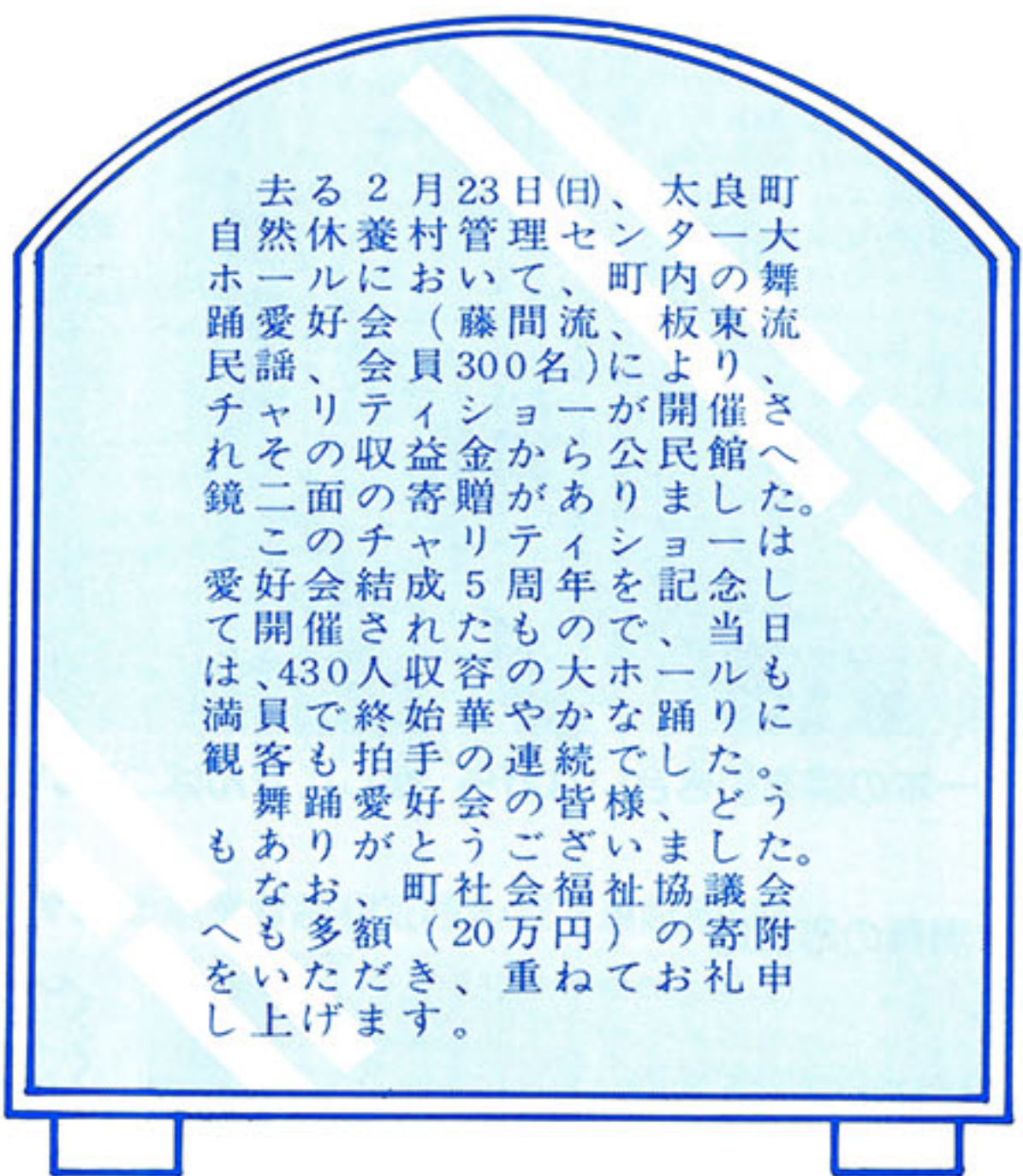
いと薄き貝殻に以て眠りたる小犬の耳朶に春の陽やさし 馬場 志茂

短歌五月

風薫る五月晴れの下苗代の水播り 足りて畦はぬれたる 田中 光子

鏡二面 公民館へ寄贈

舞踊愛好会より



町大舞流、さへたはし日にもに。うた。会附申 良一の東り催館し一念当ルりたどし議寄札 太内板よ開民まヨ記、一踊し、ま協のお (田)七、流、にが公リシをでホなで様い祉)て 日理て間名一らあイシの大か統皆ぎ福円ね 23管い藤30ヨかがテ周ものや連のご会万重 月村お(員イ益寄ヤ成れ取始手好と町(きす、 2 養に会会テ取のち結さ人終拍愛が、額だま 去然一愛謡ヤそ二こ好開、員客舞あなもいたげ 自踊民チれ鏡 愛ては満観 もへをし

『太良町の産業経済史展』

産業経済史展

太良町歴史民俗資料館では、四月末から来年三月まで「太良町の産業経済史展」を開催しております。

農林漁業経済等の進歩発展のために、我々の先祖や先輩達が如何に努力し頑張ってきたか——町内に残る農林漁業や経済関係の記録や記念碑を調査し、その写真を展示しております。更にそれらの功勞者として、岸

川文太、田中馨治、中野権六、白水辰一、田島九一、桑田末次、榊原治作、野田末一、佐藤伝治氏等の写真や略歴、功績等も紹介しています。その他、江戸時代からの珍しい各種資料を展示し、わかりやすく解説しており、ぜひ一度参観してください。

太良町歴史民俗資料館

館長 浜崎 公義



※お気軽にご参観ください

いじめ110番!!

「心のテレホン相談」開設

お気がるにお電話ください

4月1日から、藤津教育事務所内に【心のテレホン相談】を設置しました。どうぞ、お気軽にご利用ください。

ヨクハグクム 【心のテレホン相談】 ☎09546-2-4989 相談内容…学校のこと、家庭のこと、友だちのこと 相談日……毎週月曜日～金曜日 相談時間…9:00～17:00 子供もでも、大人でも、お気軽にどうぞ

また、藤津教育事務所では、毎月第2、第4月曜日の午後2時から、専門の先生方による教育相談もおこなっています。

くわしくは、09546-2-5155 (教育事務所へ)

昭和61年度 ゲートボール試合予定表

Table with 2 columns: Date and Match Name. Includes matches like '田中旗争奪戦', '松尾旗', '町長杯', '打納会', '初打大会', '県ゲー協県大会予戦', '鹿島ライオンズ旗予戦'.

▼ヨ～イ：スタート前の緊張の瞬間



▼あ～あ また通らんやった!!



▶兄ちゃん達にや負けんばい
男子千五百メートル



▲管槍をバトンにかえて
消防団リレー

—大浦校区—



▲多良校区も大浦校区もお互いにより一体となり仲よく

▼この応援が勝利を呼んだ (道越応援団)



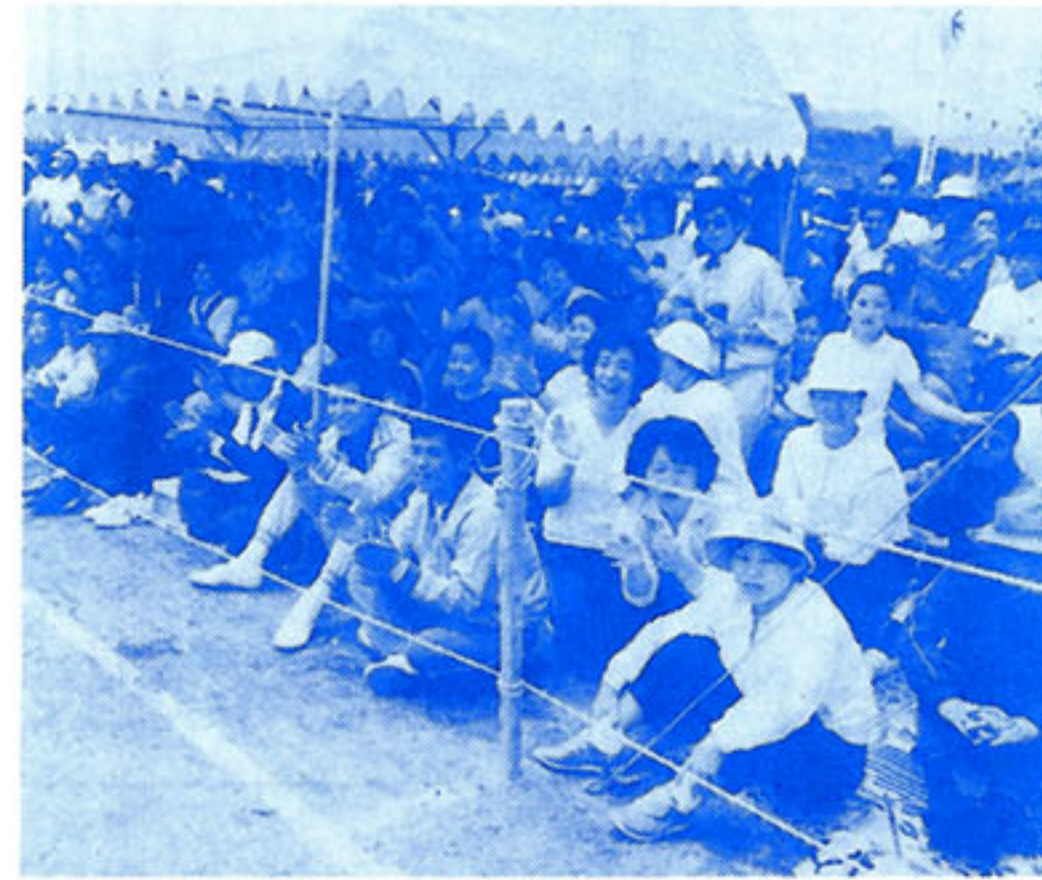
▲ウワ～、美味かたつと
楽しい昼食の時間

—多良校区—



一本の綱を引き合いながら 楽しくがんばつていこう!!

▼満員の応援席



▲童心にかえて大ハッスル



▲思ったよりむずかしい～
百足競争

▼うれしそうな花婿に
恥じらう花嫁、いいカップルですネ



第三十一回町民体育大会 栄町 道越 三年連続優勝

第三十一回町民体育大会が四月二十九日、多良、大浦両校区とも盛大に開催された。大会は、前日までの雨で開催が危ぶまれたが、当日は絶好のスポ

ーツ日和りに恵まれ、出場選手はもちろん、応援の人達も大いにハッスルされ、年に一度のスポーツの祭典に幼児からお年寄りまで楽しい一日を過ごされました。

成績			成績		
三位	二位	優勝	三位	二位	優勝
野上・中畑	里道越	(大浦校区)	畑田	油津	栄町 (多良校区)
15点	16点	26点	28点	29点	35点
〔得点〕			〔得点〕		



行事のお知らせ

日	曜	行 事 名
6 月		
20	金	婦人ソフトボール実技講習会(ナイター)
29	日	婦人ソフトボール大会
7 月		
12	土	35才以上ソフトボール大会
13	日	"
23	水	B & G スポーツ大会県大会
24	木	大浦小 子どもクラブ対抗球技大会
"	"	多良中 "
25	金	多良小 "
26	土	大浦中 "
29	火	B & G スポーツ大会九州(北)大会

花も心もすこやかに

—つつじの苗木五十本を植える

青少年の健全育成に力を入れておられる道越部落では、五月十一日、早朝より中学三年生が総出で、部落内の五つの神社の境内につつじの苗五十本を植えました。

この苗木は、荒田巧教育長からいただいたもので、赤木部落育成会長や、野田道越班育成会長をはじめ、母親たちも、トラックで苗木や水を運んだりして手伝われました。

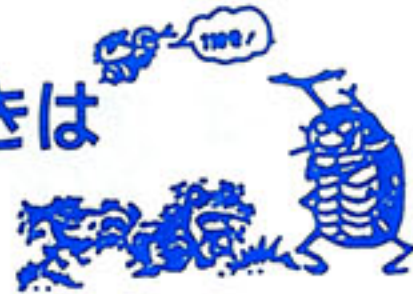
来年は美しい花が、たくさん、咲いてくれることでしょう。



犯罪捜査にご協力を!

犯罪はいつ、どこで発生するか予測することはできません。警察では、犯人を早期に検挙し県民の皆さんの生活を守るため、次の点を中心に捜査活動にご協力をお願いしています。

1 事件の発生を知ったときは
速やかに110番を!



警察は24時間体制で皆さんの街を守っています。犯罪に遭ったとき、あるいは目撃したときは「落ち着いてためらわずに」110番をして下さい。犯人は必ず逮捕します。

2 被害に遭ったときは必ず届出を!

不幸にして犯罪の被害、盗難の被害に遭われたときは「被害が少ないから」「面倒だから」「警察に迷惑をかけるから」「仕返しが怖いから」などの理由で被害の届出をしない人がいますが、これではかえって犯人を増長させ、第2第3の事件を誘発させることとなります。勇気を出して届出るようにお願いします。

3 犯罪について知っていることは
積極的に通報を!



犯罪は皆さんの身近なところで発生しています。警察ではポスター掲示やマスコミを利用した広報活動を行い皆さんからの通報を待っています。

指名手配の犯人を見かけまた犯罪について知っていることは積極的に通報をするようにお願いします。

4 聞き込み捜査にご協力を!

捜査員が聞き込み捜査でお伺いした際には、どんな小さな情報でも結構ですので是非ご協力をお願いします。

鹿島警察署

☎09546

3-1111

